２０１６年1月

市長立候補予定者への質問書

寺下章夫様

前略

このたびは平成２８年１月に実施される府中市の市長選挙に立候補されるご予定とのことで２５万市民の生活を担おうとする熱意に感謝し、敬意を表します。

私たち「自然エネルギーを考える会」は自然エネルギー社会をめざし、さまざまな活動を行っており、府中市政にも提案を行ってきました。そこで、質問をさせていただきますので、簡単でけっこうですので文書でお答えいただき１月 21 日（木）までにご返送いただければ幸いです。E-メールに返信いただいてもけっこうです。参考までに私たちが行ったアンケート調査を貼付いたします。

草々

返送先　〒１８３－０００１　府中市浅間町３－１８－１　６０１
自然エネルギーを考える会　会長　宮井迅吉
e-mail　j-miyai@aa.pial.jp

質問事項

１．　平和都市宣言にならい、行政主導で「自然エネルギー社会をめざす都市宣言」を発し啓蒙・普及活動を推進することについて、どのようにお考えですか？（府中市では２０１３年に「自然エネルギー社会をめざす都市宣言」を求める議会への陳情に１万 5000 人の方が署名しましたが、時期尚早として否決されました。）

２．　2013 年６月議会で「太陽光パネルのための公共施設の屋根貸し推進陳情」が可決されています。その後、行政サイドでの進展がありませんが、多摩近隣区域でも屋根借りを希望する団体があるようです。どのように推進するおつもりでしょうか。

３．　府中市では地球温暖化対策推進計画で「２０２０年までに全世帯の１割に太陽光パネルを導入する」という計画です。しかし資源エネルギー庁の今年７月発表の調査結果でも１２２８軒と推定され、このところ足並みが落ちています。目標達成に向けて今後どのように努力されるおつもりでしょうか。

４．　府中市では今後、小中学校の建物の長寿命化計画を予定し、屋上や外装をすべて更新する予定になっています。すでに欧米では大型施設については「ゼロネルギービル」が標準になりつつあります。パネル兼用建材を多用するなど「ゼロエネルギースクール」を実現することは技術的に可能になりつつありますが、この点についてどのようにお考えですか？

５．　多摩地域には「エネルギービジョン」や「エネルギー計画」を独自に設定して省エネの推進や再エネ導入など数値目標をもって総合的に取り組んでいる自治体があります。府中市であらためてこのような計画を立てて推進するおつもりはありますか？

６．　府中の近隣には多摩川衛生組合や、水再生センターなど再エネ発電を実施し、可能な施設がありますが、市長になったとき提携して再エネを進める可能性があるのかの確認等、この分野での自治体を超えた広域

連携についてのお考えを聞かせて下さい。